

大学院ニュース

Graduate School News



関西大学における 豊富な産学連携・地域連携と連動させた 「考動力」人材育成プロジェクト

副学長(環境都市工学部) 研究推進・社会連携部長 **山本 秀樹**

本学では、2021年度から国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）「次世代研究者挑戦的研究プログラム」の助成を受け、「豊富な産学連携・地域連携と連動させた『考動力』人材育成プロジェクト」を実施しています。

本プロジェクトでは、高度な知識・技能の修得段階にある博士後期課程学生が、卓越した「考動力」（自ら考え行動する自律力）を発揮し様々な社会課題の解決に貢献できる研究者あるいは高度専門職業人として自立した活動ができるよう、総合的な経済支援（生活費相当額、研究費、国際活動経費等）を行っています。とりわけ、コロナ禍において顕在化したSDGsをはじめとする様々な社会課題に対し、本学が有する産業界・地方自治体等との連携を活かし、多様な学問領域のアプローチから解決策を見出すことができる研究者の育成を図っています。

このような博士人材育成の目的は、「学理と実際との調和」を掲げる本学の「学の実化」という理念に基づいています。社会の中で困難を克服して未来を切り開こうとする強い意志と、多様性を尊重し新たな価値を創造することができる人材を育成するものであり、本方針のもとで、本プロジェクトでは博士後期課程1年次より、次の2つのプログラムを併行させて提供しています。

第1に、文理を超えて提供する産学連携・地域連携プログラムとして、本学の社会連携部や附置研究所が有する研究プロジェクトに加え、連携協定自治体（堺市、吹田市、高槻市等）との新たな連携研究プロジェクト等を順次提供しています。自然科学分野の学生対象では、各研究室が有する連携プロジェクトに加え、本学の「産学官連携センター」、「イノベーション創生センター」等が実施するプログラムを提供しています。

第2に、人文・社会・自然科学分野にわたり博士後期課程の学生採用に実績のある企業やシンクタンクのマネジメント担当者及び連携協定自治体等と協

力して行う専門的キャリアプログラムを実施しています。選抜学生は実務面から挑戦的・融合的な研究の意義を見出し、また博士号取得を前提とした自身の研究をどのように実社会に還元してゆくかを学ぶことができます。

本プロジェクト選抜学生には「次世代博士研究員」の身分を付与し、研究推進部、社会連携部の教職員やURA・産学官連携コーディネーターによる外部資金申請書作成、研究テーマ設定、知財ノウハウ等の多様な人的支援を提供しております。海外大学への派遣、英語論文発表のためのアカデミックライティング指導も行い、研究面の進展に寄与しております。

2022年度は選抜学生20名に対し、学生同士の異分野交流を図るイベント「次世代FUSION」の開催、教育実践能力向上のための「プレFDプログラム」、「海外研究活動に関するセミナー（危機管理事項も含む）」などの各種プログラム、キャリア開発・育成コンテンツ、産学連携によるインターンシップ等を提供しました。

さらにトランスファラブルスキル^(※)を醸成するための支援として、就職活動・インターンシップに向けたセミナーをはじめ、アカデミア内外を問わず、社会的課題解決に向けて未来を切り開くための挑戦的・融合的な研究能力を高めるプログラムも実施しました。

また、選抜学生から日本学術振興会特別研究員に1名、大学教員等に4名採用されるなど、修了後のキャリアパス面でも着実に成果を挙げています。

JSTからの高評価を受け、本学では2023年度以降5名増の25名をプログラム選抜学生として受け入れることになりました。上述の成果を踏まえ、引き続き各種プログラムを展開していきます。

※社会人に求められる能力のうち、特に転用・応用可能で、分野や業態を問わず活用するために必要となる汎用性の高い能力のこと。